

川島棟坪 （附註） 漢詩人。天保六年七月武藏國北埼玉郡須加村生れ、  
 明治二十四年五月二十五日歿（八五—九一）。諱浩、初め敬孝、字海卿、  
 のち浩然、通稱川島孝。少時芳川波山の師事、大沼枕山塾で詩を學ぶ。  
 明治八年埼玉縣學事として教育行政に従事、のち葛飾郡郡長を務める。  
 著書に『古今紀要』元・亨二冊（明治十一年一月版權所有、埼玉縣藏  
 版、長島爲一郎・山中尚兵衛・回春堂發兌。のち『掖古今紀要』全二  
 冊、明治十四年六月既翠樓藏版、埼玉・長島爲一郎發兌）、編『湖海  
 詩傳鈔』全二冊（明治十二年一月長嶋書屋藏）、校訂・貞原益軒原著  
 『定家道詞』全二冊（明治十二年一月埼玉縣藏版）、『棟坪遺稿』全  
 二冊（大正六年一月十八日埼玉・川島祿郎刊）等。

